

データの蓄積と共有がもたらす革新と課題

～マテリアルズインフォマティクスを中心に～

日時：2021年9月12日（日） 10：00～16：50

場所：ハイブリッド開催（名城大学&オンライン）

応用物理の研究開発において、近年、データサイエンスの重要性がますます高まっています。このために、データそのものの活用法に加えて、データ収集、データベース蓄積、データセキュリティと流通、データの価値評価が重要なトピックスです。そこで本シンポジウムでは、各分野の第一人者をお招きし、マテリアルズインフォマティクスを念頭に、データの蓄積と共有がもたらす革新と課題について議論します。

【プログラム】

データの蓄積と共有がもたらす学術変革

山地 一禎 (情報研)

データ流通とセキュリティ技術

岡本 龍明 (NTTリサーチ社(米国))

双子のDX：データからWhyの発見へ

大澤 幸生 (東大工)

DICEにおける材料データの蓄積と信頼性

谷藤 幹子 (物材機構)

有機合成のデジタル化

松原 誠二郎 (京大工)

論文からの実験データの蓄積と共有がもたらす革新と課題

桂 ゆかり^{1,2,3}, 熊谷 将也^{4,5,3}, 間藤 智也¹, 安藤 有希¹, 田中 敦美², 坂本 吉宏³,
藤田 絵梨奈², 木村 薫², 津田 宏治^{2,3,1}

(1.物材機構, 2.東大新領域, 3.理研, 4.さくらインターネット, 5.京大原研)

材料研究データの収集・判読化・高付加価値化のワークフローを自動化した
データプラットフォーム

吉川 英樹, 松波 成行 (物材機構)

全自動・自律型物質合成システムを用いた新物質探索と物質データベース構築

清水 亮太 (東工大物質理工)

【世話人】 富谷 茂隆(ソニーグループ)、原田 俊太(名大)、知京 豊裕(NIMS)、
小嗣 真人(東理大)、沓掛 健太郎(理研)

MI 研究者お悩み相談室

新材料開発のためのいい機械学習
ツールができたけど、発表する
ジャーナルがないんです・・・

誘電体を開発するためのデータ
セットを作ったけど、それが有効か
検証してくれるところないかな？



この深層学習の方法、どこかで公開
してみんなに使ってもらいたいな・・・

はい！あります。

STAM 姉妹ジャーナル 創刊！

STAM Science and Technology of
Methods Advanced Materials: Methods



STAM および STAM Methods は、
国立研究開発法人物質・材料研究機構 (NIMS) と Empa が支援するオープンアクセスジャーナルです。